

IEICE ICT PIONEERS WEBINAR シリーズ 【第 44 弾】

外国語を「聞く耳」「話す口」の獲得を技術的に支援する
～日本人が誰でも英語ペラペラになる未来はあるのか？ ないのか？～

峯松 信明

(東京大学 教授)

【開催日時】2023 年 11 月 30 日 (木) 16:30～17:30

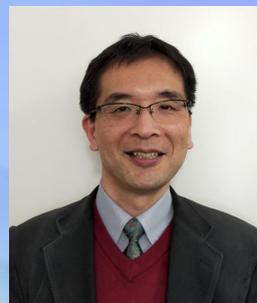
講演内容

野球，サッカー，バスケ，ラグビー，卓球，ボクシングなど，ここ数年スポーツの分野で日本人の活躍が目立つ。かつては W 杯出場を夢見ていた国民が，今では W 杯優勝を現実の目標として語るようになった。目を日本人の英語力に向けると，OECD 加盟国で最下位，アジア諸国でも底辺に位置し，最近では中 3 のスピーキングテストで正答率 12% という報道があった。

講演者は高校時代に英語教師を目指し，大学時代は英語劇の舞台に立ち，音声科学・工学の分野に進み，技術を教える教授（東大工学系）となり，外国語音声教育支援を手広く手掛けている。2023 年度からは，これまでの研究成果を総括する意味で，東大工学部にて，英語を聞く・話す素地を授ける授業を展開している。W 杯出場が夢だった国民が，今，W 杯優勝を語っている。それでは（おそらく明治維新以来）ずっと英語学習劣等生だった日本人が，誰でも英語ペラペラになる未来というのは存在するのだろうか？ 科学者・技術者視点でこの問いを論じてみたい。

和田親宗ヒューマンコミュニケーショングループ会長 からの紹介文

講師の峯松先生は，東京大学において工学系の教育・研究に携わっていらっしゃいますが，高校時代は英語教師を目指しておいででした。英語に関する興味が，音声科学・音声工学の研究につながり，数々の輝かしい研究成果となっています。その成果を活用し，今年度からは工学部学生を対象に英語を「聞き取れる耳」「伝わりやすく話せる口」を授ける特訓型授業を開講されています。本日のご講演では，各種プロジェクトの成果と特訓授業の様子を含め，「英語ペラペラ」の実現可能性をお話しいたできます。



【講師略歴】 峯松信明

1995 年東大院工学系・博士課程修了。博士（工学）。2000 同大学院助教授，2012 同大学院教授。高校時代は英語教師を目指すも，理系の道を選択。大学時代は英語劇の舞台の上で発音を磨き，やがて，音声科学・工学の研究の道に進む。外国語音声教育支援を幅広く手掛けており，2023 年度からは工学部学生向けに英語を聞く・話す素地を授ける特訓型授業を展開中。ISCA board member，電子情報通信学会フェロー